

センター実習 報告

- ◇期 日 平成30年7月25日(水)
- ◇場 所 富山県総合教育センター理科研修室
- ◇参加者 第2学年普通科理系・理数科学科生徒38名
- ◇指導者 富山県総合教育センターの先生方

センター実習は、学校ではできない観察や実験を経験することで、科学の面白さに触れ、学習内容の理解を深めることを目的としています。参加生徒は物理、化学、生物、地学の
実習から2つを選択して実習しました。それぞれの実習内容は次の通りです。

【物理実習】・・・光の回折と干渉、CD・DVD・BDのトラックピッチの測定
可視光線波長の測定、空き缶分光器の制作

【化学実習】・・・燃料用アルコールの分留と定量、食品に含まれる酸化防止剤の定量
水に溶解している各種イオンの定量、嗜好品に含まれる成分と定量

【生物実習】・・・ゾウリムシの繊毛運動、カエルの解剖

【地学実習】・・・微化石による古環境解析

～有孔虫化石による古水深の推定・アンモナイトを調べナイト～

学校では教科として学んでいない地学も、生物などの教科と関連する部分も多いと感じました。日頃の授業で身につけた知識を実際に活用して実習に取り組めたので、教科の学習内容に関して理解が進み、教科に対する興味関心が深まりました。

